

第27回 関東中学生空手道選手権大会 審判・監督会議資料

競技会場 ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館

審判会議 7月6日(土) 11:00～、7日(日) 8:30～ 会場: 第2会議室

監督会議 7月6日(土) 11:30～、7日(日) 8:50～ 会場: 第1道場

1 競技日程

大会1日目【6日】		大会2日目【7日】	
開場	9:00	開場	8:00
審判会議	11:00～	審判会議	8:30～
監督会議	11:30～	監督会議	8:50～
開会式	12:20～	開始式	9:20～
競技開始	12:50～	競技開始	9:30～
形競技	個人女子	組手競技	個人女子
形競技	個人男子	組手競技	個人男子
形競技	団体女子	組手競技	団体女子
形競技	団体男子	組手競技	団体男子
		閉会式	15:40～

※7月6日来賓・役員・審判員の先生方は審判会議後、開会式までに昼食をお召し上がりください。

2 練習会場

7月6日(土) 武道館第2・3道場(都県割当) 9:00～16:00

7月7日(日) 武道館第2・3道場(都県割当) 8:00～15:00

3 競技種目

		組手競技		形競技	
男子		団体組手	個人組手	団体形	個人形
女子		団体組手	個人組手	団体形	個人形

4 競技規定

(公財)全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定及び、関東中学校空手道連盟申し合わせ事項による。

5 競技方法

①組手競技(個人・団体共)はトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。

形競技は得点制とする。

②団体種目は登録選手5名までの3人制とする。(同一種目1校1チームとする)なお、団体組手は2名でも参加可能としその場合は先詰めとする。

③個人競技種目に登録された選手の変更は認めない。

④競技場には、競技用マットを使用する。

⑤赤・青帯は、各自持参とする。帯の刺繍について、氏名以外では、学校名・都県連盟名・全日本空手道連盟名のいずれかであることが望ましい。

6 組手競技について

①競技時間は、男女ともに1分30秒のフルタイムとし、勝敗は競技時間内に6ポイント差が生じた場合、競技終了時に得点の多い競技者、同点の場合は競技規程に則り勝敗を決定する。

②安全具は、(公財)全日本空手道連盟検定品を必ず着用する。

※高体連検定品は不可(但し、全空連マークと高体連マークの両方入っている物は可)

ア.男子組手競技は次の6点

- ・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーはVI・VIIとする
- ・シンガード、インステップガード、ファールカップ

イ.女子組手競技は次の5点

- ・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーはVI・VIIとする
- ・シンガード、インステップガード

ウ.団体組手競技の場合は、出場選手分の安全具を用意すること。

※シンガード、インステップガードは、全空連検定品の白色の製品のみ使用可。

③選手は入場後、審判員による防具チェックを受ける。

④団体組手競技は、回戦毎にオーダー票の提出をする。初戦は大将戦まで行う。

⑤組手競技では当該都県の審判はしない。但し、当該都県の場合1名ずつの副審が入ることがある。

7 形競技について

①演武する形名はエントリーシート(申告書)において確認する。

②審判員5名の得点制とする。

③ラウンド1は6グループにて行う。

④各グループの上位3名(チーム)が次のラウンドに進出する。

⑤1人(チーム)ずつ演武する。

⑥準決勝戦は1グループ9名(9チーム)の2グループで行う。

⑦空手競技規定(JKF)の指定形リスト及び全空連得意形リストから選択する。

ア.ラウンド1は、(公財)全日本空手道連盟第I・II指定形とする。

イ、準決勝・メダルマッチは、これまで使用していない第Ⅰ第Ⅱの指定形及び、全空連得意形リストより選択し、同一形の繰り返しを可とする。同点による再演武は、同一形とする。

⑧選手の呼び出しはしない。モニターに選手が表示されたら入場して開始する。

⑨演武終了後はコート線上へ下がって発表を待つ。

⑩決勝と3位決定戦では当該都県の審判はつかない。決勝は審判長が編成する。

8 共通事項

①審判員は原則ブレザー着用とする。正副審判長の同意があればブレザーを脱ぐことができる。その場合コート長を通じて各コートへ伝達する。

②初戦でのテーピングの使用は認める。その場合、大会ドクターの診断に従いメディカルチェックを受ける。IDカード裏側に入れて主審に表示する。

③大会本部が発行するIDカードを身につけること。ゼッケンは使用しない。

④試合を終了した選手は速やかにアリーナから出ること。当該競技に関係のないものはアリーナには入れない。

⑤女子選手はアンダーシャツ（Tシャツ）を使用する場合は白無地とし、ワンポイントまでは認める。

⑥判定については審判団に異議申し立てはできない。審判の手続きに規定違反があった場合、監督、コーチは拳手の口頭で監査に異議申し立てること。異議申し立ては手続き違反があった時に即時行うこととし、次の試合に入った場合は受け付けない。

9 監督の服装

監督は紺または黒のスーツ又はブレザー、ズボン（女性はスカート可、男性はネクタイ）を着用すること。その際競技役員（審判員）との区別をはかるために、全空連ネクタイ及び全空連エンブレムは着用しないこと。監督は競技場では常にIDカードを首にかけて携帯すること。監督証は大会本部にて準備し、受付時に配布する。監督は品位ある態度で競技に臨むこと。携帯電話、カメラ、かばん（ショルダーバッグ、ウエストポーチ等）の持込み不可。プログラム持込み可とする。

※審判長の同意があれば上着を脱ぐことができる。

10 招集場所 第2道場

※監督・コーチは招集に遅れないように選手に指示をお願いします。

※挨拶後、次戦の選手以外は審判席後方にて待機する。

11 開場時間：7月6日（土）9：00 7月7日（日）8：00

12 会場使用上の注意

- ・各自靴袋を用意して管理してください。1・2階とも下足禁止。
- ・観客席は各都県指定の場所へお座りください。
- ・荷物による場所取りはしないでください。
- ・貴重品の管理は各自でお願いします。
- ・喫煙は指定の喫煙所でお願いします。
- ・ゴミは各自で持ち帰ってください。